

無所属

茨木市議会議員 **米川 勝利** の議会ニュース

よねかわ しょうり

つながりだより Vol:12

2016年10月15日

発行責任者：米川勝利
茨木市桑田町 15-29-205
TEL&FAX : 072-628-3986
携帯電話 : 070-5265-4371
メール : info@s-yonekawa.net



9月議会報告

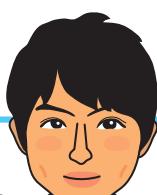
9月議会は5日に開会し、23日に閉会しました。

今回の議会は、主に本会議における一般質問と、常任委員会・決算特別委員会において決算審議を行いました。

◆ 本会議の一般質問（米川） ～防災対策について～

Q. 災害時の通信環境が不十分ではないか

本市の指定避難所にはWi-Fi環境がないようだが、今年度あがっている総務省の「公衆無線LAN環境整備事業」、「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」の補助金を活用してはどうか。維持費の面で厳しければ、携帯電話事業者に車載型無線基地局や移動電源車の配置について、事前に調整してはどうか。



裏面に続きます…
一般質問の続き / 決算 / トピック

よねかわ しょうり **米川 勝利** プロフィール

◇1986(昭和61)年生まれ

◇大池小学校、東中学校、

茨木高校、

同志社大学政策学部卒業

◇同志社大学大学院

総合政策科学研究科

博士前期課程修了

博士後期課程退学

◇所属委員会

・議会運営委員会（副委員長）

・民生常任委員会

・北部整備対策特別委員会

・議会改革推進委員会

・議会広報委員会（副委員長）

・茨木市土地開発公社理事

詳しいプロフィールはホームページへ
<http://s-yonekawa.net/>
ブログも更新中！



議会日程

4~5日 開会、議案審議

8~9日 常任委員会

12~15日 決算特別委員会

20日 幹事長会・議会運営委員会

23日 討論、採決、閉会

A. 危機管理監の答弁

公衆無線LANは、避難者の災害時の情報入手、情報発信手段としては有効であるが、インターネット接続環境の維持費が発生するため、平時の活用手段とあわせて検討するなど、費用対効果を見極めて導入を判断する。

また、携帯電話事業者との調整については、今後事業者の応急対策とも連携し、移動基地局の配置を要請するなど、避難者の通信環境の確保に努めていく。

決算って??

納められた税金等がどのように使われたのかまとめたもの。
決算について詳しく知りたい方は市HPをご覧ください。



Q. 指定避難所で使えるパソコンがない!?

指定避難所に災害時に使用できるパソコンはあるか。本市の被災者支援システムはパソコンさえあれば、避難所における避難者の入退所記録ができる。そのデータは災害対策本部に集約し、避難所関連システムに取り込める。静岡市では、災害時に学校のノートパソコンを開放している事例などを参考に、新規でPCを買うのではなく、**今あるものを避難所運営で有効活用できるよう検討してはどうか。**見解を。

A. 危機管理監の答弁

避難所として指定する施設には事務作業用のパソコンは配置されているが、**災害対応を目的としたパソコンは配置していない。**避難所に指定している施設のパソコンを災害時に有効活用するためには、各施設がパソコンに保有している情報に対するセキュリティ対策等についての調整が必要であるため、**今後関係部署と調整していく。**

その他の防災関係の質問として、①ビッグデータを活用した避難者支援、②外国人や子ども、障がい者でもわかりやすい「やさしい日本語」の取り組み、③外国人に対する避難所への通訳派遣の仕組みづくりについて等をしました。詳しくは市議会のインターネット中継(録画)や米川のブログをご覧ください。議事録公開は11月中旬になる予定です。

決算特別委員会

決算特別委員会は8人で構成される委員会で、今回でいうと2015年度の一般会計予算が適切に執行されたかをチェックするものです。

12~14日は帳票審査、15日は質疑を行いました。

- ・基礎的財政収支(プライマリーバランス)
- ・障害者就労支援福祉金等、廃止に伴う昨年度の取り組みと効果の検証
- ・入院時コミュニケーション支援事業のスタートの遅れの指摘と今後の対応 etc

※なお、米川は一般会計決算について賛成しました。



トピック

銀メダリスト樋口選手に市民栄誉賞

リオデジャネイロオリンピックでレスリングフリースタイル男子57kg級に出場された樋口黎選手が銀メダルを獲得されました。樋口選手は西陵中学校の出身です。市議会では、樋口選手に市民栄誉賞受賞に同意する議案が可決されました。



妊婦健康診査助成額 UP

妊婦健康診査は、妊娠から出産までの間、お母さんとお子さん対象の健康診査です。茨木市では、経済的な負担を少なくするため、妊婦健康診査の費用助成を行っています。2016年9月1日から、費用助成額の上限が9万円から12万円に上りました。12万円の助成額は大阪府内トップで、同額の市がほかに8市あります。



市民会館のあり方について広く意見を募る「市民会館100人会議」スタート

新市長のもと、対話の仕組みである「確かな未来ミーティング」が構築され、第1弾として、市民会館の跡地活用について、市長と市民のみなさまが「対話」する**「市民会館100人会議」**が10月から始まります。

なお参加者については、無作為抽出した、市内にお住まいの18歳以上の5,000人を対象に、「確かな未来ミーティング」への参加登録申込書が郵送されています。100人会議の参加者は、「確かな未来ミーティング」に登録のうえ、抽選で選ばれています、2017年10月から平成29年2月まで(1回3時間程度)の開催の予定。

